



福島医発第 1306 号 (総)

平成 21 年 10 月 16 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 横 倉 義 武

(公印省略)

平成 22 年 1 月 23 日～24 日

第 15 回日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」の
開催についてのご案内

平素は、生涯教育推進のためにご尽力いただきまして、誠にありがとうございます。

標記の件につきましてご連絡いたします。

内容は、基本的にこれまでと同様であります。平成 21 年 4 月より指導医の要件として、指導医講習会を受講したことが必須要件となりましたことから、申し込みが多いことが予想されるため、参加者の定員が各都道府県医師会あたり 2 名程度になることを申し添えます。

つきましては、貴会で参加希望者がありましたら、11 月 20 日 (金)までに別紙により本会へご連絡願います。

小郡三井医師会より

生涯教育担当理事 永田正和
会長 丸山 泉

上記参加ご希望の方は 11 月 16 日 (月) までに当医師会事務局へご連絡下さい。

福岡県医師会総務課行き

FAX 092-411-6858

平成22年1月23日(土)・24日(日)開催
第15回日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」

医師会名 _____

参加を希望します。

フリガナ 氏 名 男性・女性に○	所属・役職・住所・ TEL・FAX (連絡先)	診療科	年齢	県医 会員 (○×)
男性・女性				
男性・女性				
男性・女性				

日本医師会 第15回「指導医のための教育ワークショップ」

趣旨

わが国の医学教育は、新しい医学・医療の進歩と社会のニーズに対応するため、カリキュラムの改善、共用試験（C B T・O S C E）の標準化などの取り組みが重ねられている。

このような状況下、多くの医学部・医科大学で地域の医療機関における卒前臨床実習がカリキュラムに組み入れられ、さらに医師臨床研修制度においても地域医療研修が必修とされている。

このため、地域医療を担う医師による、医学生や研修医に対する指導が求められていることから、指導医としての教育能力を身につけることを目的として、日医会員のためにワークショップを開催する。

本ワークショップでは、教育目標の設定、教育方法の立案および評価法の策定が重要であることを強調する。

なお、平成21年4月より、本ワークショップをはじめとする医師の臨床研修に係る指導医講習会を受講したことが医師臨床研修制度における指導医の必須要件となっている。

主 催 日本医師会

テーマ 研修医へのカリキュラム立案

日 時 平成22年1月23日（土）9時50分～1月24日（日）16時40分

会 場 晴海グランドホテル

〒104-0053 東京都中央区晴海 3-8-1 TEL03-3533-7111

方 法 1泊2日の合宿形式によるワークショップ（講習時間16時間20分）

参加者 28名（1グループ7名）

(1)都道府県医師会推薦参加者（7年以上の臨床経験を有する者）

(2)その他

*日本医師会員を優先します。

申込方法 都道府県医師会を通じて申し込む。

参加費用 日本医師会員 4万円

都道府県医師会員または郡市区医師会のみ 5万円

非会員 6万円

＊1月23日の昼食・夕食・宿泊費、1月24日の朝食・昼食費を含みます。(会場までの旅費は本会では負担しません。)

＊事前にお振込みいただき、当日欠席した場合でも返却いたしません。

修了証 日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」を修了した者に、「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」(平成16年3月18日付け医政発第0318008号)に基づく、日本医師会長、厚生労働省医政局長連名の修了証書を発行する。

日本医師会生涯教育制度 10単位

ワークショップスタッフ

ディレクター

岩砂 和雄 日本医師会副会長

飯沼 雅朗 日本医師会常任理事

チーフタスクフォース

福井 次矢 聖路加国際病院長

タスクフォース

倉本 秋 高知大学医学部附属病院長

後藤 英司 横浜市立大学医学研究科教授

中島 宏昭 昭和大学横浜市北部病院副院長

羽金 和彦 国立病院機構栃木病院臨床研究部長

事務局

日本医師会生涯教育課

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 TEL 03-3942-6139(直通)

第15回 日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」プログラム (案)
 テーマ「研修医へのカリキュラム立案」

第1日 平成22年1月23日 (土)

時刻	形式	所要時間	内 容
			受付
9:50		10分	プリテスト
10:00			開会 ディレクター・タスクフォース挨拶
10:10	P	35分	参加者他己紹介(2分+2分、1人30秒)
10:45	PL	20分	ワークショップとは
11:05	(65分)		GW1:社会が求める医師の基本的臨床能力
	PL	10分	KJ法
	G	30分	I 10分, G 20分
	P	25分	発表・討論 (各グループ 5分:発表4分、討論1分)
12:10		昼 食 (60分)	
13:10	PL	20分	カリキュラムとは
13:30	(3時間10分)		GW2:教育目標
	PL	20分	教育目標とは
	G	10分	ユニットテーマの選択
	G	110分	教育目標作成
	P	50分	発表・討論 (各グループ 10分:発表6分、討論4分)
16:40	(2時間40分)		GW3:教育(学習)方略
	PL	20分	教育(学習)方略とは
	G	90分	教育(学習)方略作成
18:30		夕 食 (60分)	
19:30	(1時間30分)		Night Session
			テーマ:指導医のあり方
	PL	5分	トリガー ビデオ
	G	45分	問題点とその対応
	P	30分	発表(ロールプレイ)・討論
	PL	10分	指導医の役割
21:00	P	10分	第1日目の評価記入
21:10			第1日 終了

第2日 平成22年1月24日(日)

時刻	形式	所要時間	内 容
朝 食			
8 : 30	P L	5 分	振り返り
8 : 35	P L	2 0 分	卒後臨床研修の最近の動向
8 : 55			GW3 : 教育(学習)方略 (続き)
	P	5 0 分	発表・討論 (各グループ 10 分 : 発表 6 分、討論 4 分)
9 : 45	P L	2 0 分	地域保健・医療について
10 : 05		(2時間50分)	GW4 : 教育評価
			プレ教育評価演習
	P L	2 0 分	教育評価とは
	G	9 0 分	教育評価作成
11 : 55			昼 食 (50分)
12 : 45			GW4 (続き)
	P	5 0 分	発表・討論 (各グループ 10 分 : 発表 6 分、討論 4 分)
	P L	1 0 分	ポスト教育評価演習
13 : 45	P L	1 5 分	医師会における医学教育の役割
14 : 00		(80分)	GW5 : 臨床研修の問題点への対応
	P L	1 0 分	二次元展開法
	G	4 0 分	問題解決作業
	P	2 5 分	発表・討論 (各グループ 5 分)
	P L	5 分	抵抗と克服
15 : 20	P L	3 0 分	コーチング (ビデオ)
15 : 50	P	3 0 分	ポストテスト 第2日目の評価記入・提出 WS総合評価記入・提出 参加者コメント (1人20秒) 教育評価演習結果発表 プリテスト・ポストテスト結果発表
16 : 20			修了証授与 ディレクター挨拶 写真撮影 閉会
16 : 40			終 了

- I (Individual work) 個人作業
G (Group work) グループ作業
P L (Plenary lecture) 全体講義
P (Plenary session) 全体討論